

# めぐみイエス・キリスト教会

2015年10月4日(日) 《午後6:00~7:00》

第一主日礼拝週報「通算第278号」



(秋の湖)

めぐみイエス・キリスト教会へようこそ！  
礼拝に来られたお一人お一人を  
心から歓迎いたします。

住所 千葉市稲毛区宮野木町835-78  
電話 043-256-0488

主日礼拝 毎週日曜日 午後6時~7時  
聖書研究・祈禱会 毎週木曜日 午後6時~7時

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎2015年標題聖句『へブル人への手紙13章8節』

《イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも同じです。》

## ◎今月のみ言葉『ローマ書10章13節～15節』

《「主の御名を呼び求める者は、誰でも救われる。」のです。しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。次のように書かれていますとおりです。「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんと立派でしょう。」》



(紅葉)

## ◎お知らせ

1. 次回の祈祷会は、10月8日(木)午後6時から行ないます。
2. 10月1日(木)東京プレイヤーセンターにて、原田恵さんと藤平久代さん、佐野みゆきさんと鈴木ますみさん、そして鈴木師とのリハーサルは、無事、喜びの中に行なうことが出来ました。
3. 10月3日(土)オリジナル賛美コンサートは、祝福の中に終わることが出来ました。本当に素晴らしい人々と出会えたこと、またこうして一緒に主イエスを賛美することが出来ましたことを、心から感謝します。
4. 10月5日(月)ITCNは、中野雄一郎先生がメッセージを担当します。鈴木師は、午後集会にて、藤平さんと特別賛美のご奉仕です。
5. 肺炎で入院していました所美保さんが、昨日3日(土)退院しました。

◇◆◇2015年10月4日(第一主日礼拝)

午後6時00分～7時00分

司会 鈴木 ますみさん 奏楽 佐野 みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

#### 【賛美Ⅰ】

- ①すべてが生きる
- ②静まって知れ
- ③栄光イエスにあれ
- ④あなたと共にいつまでも

#### 【使徒信条】

#### 【主の祈り】

#### 【賛美Ⅱ】

- ⑤油の注ぎを
- ⑥主の愛が今
- ⑦主イエスを礼拝するため

【メッセージ】《今こそ刈り入れの時！》鈴木 竜実 牧師

#### 【聖餐式】

#### 【賛美Ⅲ】

- ⑧聖歌447「罪の汚れを」
- ⑨神のみわざ

#### 【祝 祷】

- ⑩友よまた会う日まで

◎本日のメッセージ【今こそ刈り入れの時！】

◎聖書箇所【ヨハネの福音書4章35節～38節】 (新約p.164下段)

4:35 あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある。』  
と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上  
げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。

4:36 すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに入れられる実  
を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。

4:37 こういうわけで、『ひとりが種を蒔き、ほかの者が刈り取る。』と  
いうことわざは、ほんとうなのです。

4:38 わたしは、あなたがたに自分で労苦しなかつたものを刈り取らせるために、あなたがたを遣わしました。ほかの人々が労苦して、あなたがたはその労苦の実を得ているのです。」

●ポイント1 主の引用された「ひとりが種を蒔き他の者が刈り取る」とは？

※ミカ書6章15節 【ユダとサマリヤの滅亡の預言】(旧約p.1400)

あなたは種を蒔いても、刈ることがなく、オリーブをしぼっても、油を身に塗ることがない。新しいぶどう酒を造っても、ぶどう酒を飲むことができない。

●ポイント2 主イエスが言われる「種蒔き」の法則とは？

※ルカの福音書8章5節～15節【種を蒔く人は神の言葉を蒔く】(新約p.114)

●ポイント3 「刈り取り」の法則とは？

※詩篇126篇1節～6節 【都上りの歌】 (旧約p.953)

126:1 主がシオンの捕われ人を帰されたとき、私たちは夢を見ている者のようであった。

126:2 そのとき、私たちの口は笑いで満たされ、私たちの舌は喜びの叫びで満たされた。そのとき、国々の間で、人々は言った。「主は彼らのために大いなることをなされた。」

126:3 主は私たちのために大いなることをなされ、私たちは喜んだ。

126:4 主よ。ネゲブの流れのように、私たちの捕われ人を帰らせて下さい。

126:5 涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう。

126:6 種入れをかかえ、泣きながら出て行く者は、束をかかえ、喜び叫びながら帰って来る。

※ガラテヤ人への手紙6章7節～9節【使徒パウロの勧め】 (新約p.340)

6:7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。

6:8 自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。

6:9 善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。